

建築用シーリング材 2成分形ポリウレタン系



ボンドビューシール® 6909

JSIA F★★★★ 認定番号 003026

「ボンド ビューシール® 6909」は、ポリウレタンを主成分とする高性能建築用弾性シーリング材です。優れた被塗装性を有し、各種複層仕上塗材、薄付け仕上塗材、外壁化粧防水材などのいづれに対してもほとんど汚染を生じません。塗装仕上げを施す目地に最適です。

■用途

- コンクリート、モルタルの各種塗装目地
 - 窓枠まわりの塗装目地 ●ALCパネル間目地
- ※ガラスまわり、金属間目地および露出目地には適しません。

■特長

- 塗装材との密着性がよく、ほとんど汚染を生じません。
- JIS A 5758のクラスはF-25LMを取得しています(耐久性区分は8020)。
- 硬化による体積収縮がほとんどありません。
- 施工気温に応じた作業性と硬化性を備えています。
- 専用プライマーの使用により、各種被着材に強固に接着します。
- 混合確認用トナーの使用により、攪拌の度合いが判断しやすくなります。(攪拌時には必ずご使用ください。)

■適用プライマー

項目		ボンド シールプライマー	
		# 7	# 9
タイプ		1液型	1液型
外觀		無色透明液体	淡黄色透明液体
組成	樹脂	ウレタン樹脂系	ウレタン樹脂系
	溶剤	酢酸エチル、酢酸ブチル	酢酸エチル
比重 [23℃]		0.98 ± 0.05	0.99 ± 0.05
粘度 (mPa・s [23℃])		50 以下	50 以下
不揮発分 (%)		34 ± 3	31 ± 3
乾燥時間	5℃	60分	60分
	23℃	30分	30分
	35℃	15分	15分
	シーリング材の充てん可能時間[23℃]	乾燥後から 8時間	乾燥後から 8時間
開封後の処理(不使用時密栓)	当日内に使い切る	当日内に使い切る	
有効期間(冷暗所貯蔵)	6ヵ月	6ヵ月	
包装・容量		500g 缶入 (12缶/ケース)	500g 缶入 (12缶/ケース)
主用途		汎用	汎用
備考			(※) 第四類第一石油類

※：直射日光により黄変しますので、プライマーのはみ出しに注意。

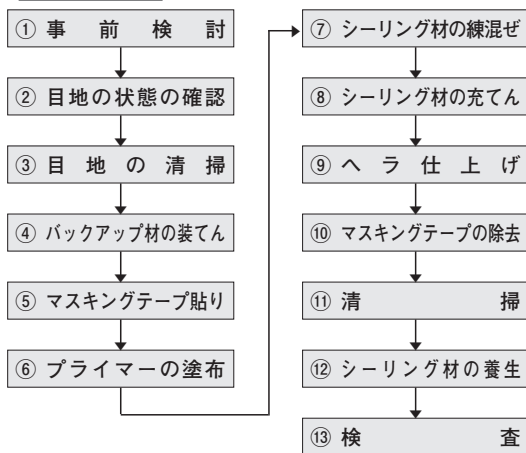
■性状・性能

(JIS A 5758 及び JIS A 1439 に基づく試験結果)

項目	ボンド シーリング材		ポリウレタン系			
	ボンド ビューシール® 6909		ボンド ビューシール® 6909			
外觀	基剤	液状				
	硬化剤	ペースト状				
混合比(質量) 基剤:硬化剤			100 : 450			
クラス			F-25LM			
JIS A 5758	スランプ (50℃、mm)	縦	0			
		横	0			
	弾性復元率 (%)	84				
JIS A 1439	引張応力 (N/mm ²)	23℃	0.1			
		-20℃	0.1			
JIS A 5758	定伸長下での接着性	23℃	破壊なし			
		-20℃	破壊なし			
JIS A 5758	圧縮加熱・引張冷却後の接着性	破壊なし				
		水浸せき後の定伸長下での接着性	破壊なし			
体積損失 (%)			5.7			
耐久性能		8020				
JIS A 1439	可使用時間 (時間)	製造月	1, 2, 11, 12	3, 4, 9, 10	5, 6, 7, 8	
		5℃	4	—	—	
		23℃	2	3	4	
JIS A 1439	タックフリー (時間)	5℃	24 以内	—	—	
		23℃	24 以内	24 以内	24 以内	
		35℃	—	—	24 以内	
比重		1.09				
押し出し性 (5℃、秒)		2				
引張接着性	被着体	条件	50% 引張応力 (N/mm ²)	最大引張応力 (N/mm ²)	最大荷重時の伸び (%)	
						アルミニウム板
	モルタル板	加熱後 23℃	0.14	0.35	448	
		水浸せき後 23℃	0.15	0.35	503	
		養生後 23℃	0.15	0.37	495	
		加熱後 23℃	0.13	0.35	414	
		水浸せき後 23℃	0.12	0.36	601	

※表中の数値は標準値を示しています。数値は規格値ではありません。

■施工方法



■標準施工量

ボンド ビューシール® 6909 1L当たりの概算施工メーター数

深さ(シール厚)	目地幅			
	10mm	15mm	20mm	25mm
10mm	8.3	5.6	4.2	—
15mm	—	—	2.8	2.2
20mm	—	—	—	1.7

※数量には20%のロスを含んでおり、状況に応じて増減する場合があります。

■色調

●ライトグレー

※混合確認用トナー(グレー)を使用した場合の色調です。

■梱包容量

●ボンド ビューシール® 6909 :

6Lセット…2セット入り / 1ケース

※攪拌時には専用の混合確認用トナーを必ずご使用ください。

■注意事項

本品の取り扱いには、下記の注意事項を守ってください。

より詳細な情報はSDSをお読みください。

- 取り扱い中は、できるだけ皮フにふれないようにし、必要に応じて保護具を着用する。特にプライマー使用時には、有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、保護メガネなどを必要に応じて着用する。●容器からこぼれた場合には、砂などを散布した後に処理する。●取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。●皮フに付着した場合には、すみやかにふき取り石ケンと水でよく洗い落とす。●眼に入った場合には、多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受ける。●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受ける。●指定された材料以外と混合しない。●直射日光が当たらない、温度が5~35℃の乾燥した場所を定めて保管する。[シールプライマー]の取り扱いには、それぞれ下記の注意事項も加えて守ってください。
- 引火性の液体です。有機溶剤中毒の恐れがあります。皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれや中毒、その他の健康障害を起こす恐れがあります。
- 火気のある場所や、静電気の発生する場所では使用しない。●取り扱い作業場所に局所排気装置を設け、充分に換気する。●容器から出し入れする場合には、こぼれないように注意する。●蒸気やガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受ける。●使用後は容器のフタを完全に閉める。●火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いる。(火気厳禁 第四類第一石油類 危険等級Ⅱ)
- ※本品は使用方法・使用条件によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ず確認の上、ご使用ください。
- ※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませようお願いいたします。(記載の性状等は2015年9月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願います。)

国際単位系(SI)による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa·s、1kgf·cm=9.8×10⁻²J、1MPa= 1N/mm²です。1N/mm²は約10.2kgf/cm²に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

■被塗装性

仕上塗材の種類および通称		項目	付着性	汚染性
仕上塗材	合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材(薄塗材E)	リシン	○	◎
	可とう形外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材(可とう形薄塗材E)	弾性リシン	○	○
	防水形外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材(防水形外装薄塗材E)	単層弾性	○	○
	合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材(複層塗材E)	複層E	○	◎
	反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材(複層塗材RE)	複層RE	○	◎
	防水形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材(防水形複層塗材E)	複層弾性	○	◎
	外壁化粧防水材	アクリルゴム	○	◎
水性系塗料	合成樹脂エマルジョンペイント	アクリル水性	○	△
	反応硬化形1液水性ウレタン樹脂塗料	水性ウレタン	○	◎
	反応硬化形1液水性アクリルシリコン樹脂塗料	水性シリコン	○	◎
	微弾性フィラー	—	○	◎
非水エマルジョン系塗料	アクリル非水エマルジョン系塗料	NAD	○	○
	ターベン可溶2液形ウレタン樹脂エナメル	—	○	◎
溶剤系塗料	アクリル樹脂エナメル	—	△	◎
	2成分形アクリルウレタン塗料	—	○	◎
	アクリルシリコン樹脂系塗料	—	○	◎
	常温乾燥形フッ素樹脂系塗料	—	○	◎

付着性/○:良好(条件により密着性が低下する場合あり) △:可 ×:不可
汚染性/◎:汚染なし

- :塗料の種類、仕様により汚染の可能性あり(実用上問題なし)
- △:汚染の可能性あり(バリアープライマーを使用すれば可)
- ×:汚染あり(バリアープライマーを使用しても不可)

※仕上塗材のメーカーやシーラーの種類により異なる場合があります。
※油性系、アルキッド樹脂系塗料などの酸化重合型塗料、又は弱溶剤1液形ウレタン樹脂塗料を塗布すると、塗膜の乾燥が極めて遅くなったり、シーリング材の硬化表面が軟化、溶解したりすることがありますので使用を避けてください。
※塗装は、施工後3~7日以内を目安(23℃の場合)として行ってください(シーリング材が十分にゴム弾性を発現していない場合に塗装すると密着不良の原因となります。また、塗装までの間隔が長くなると密着性が低下する場合があります)。
※下地調整剤としてセメントフィラー(カチオンフィラー)は塗膜が硬いため動きのある目地で使用すると塗膜のはがれや浮き、割れが発生する恐れがありますので、シーリング材上の目地調整が必要な場合は塗膜の柔らかい微弾性フィラーを使用してください。

コニシ株式会社 <http://www.bond.co.jp/>

大阪本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル) TEL06(6228)2961
東京本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) TEL03(5259)5737

名古屋支店 TEL052(217)8624 札幌支店 TEL011(731)0351 高崎営業所 TEL027(324)3002 高松営業所 TEL087(835)2020
福岡支店 TEL092(551)1764 仙台営業所 TEL022(211)5031 金沢営業所 TEL076(223)1565 沖縄営業所 TEL098(884)7521
横浜支店 TEL045(663)3184 栃木営業所 TEL0285(43)1511 広島営業所 TEL082(507)1911